

2016年11月10日
東日本旅客鉄道株式会社八王子支社
株式会社JR中央ラインモール

子どもたちとシニア世代の交流の場



「COTONIOR (コトニア) 国立」が誕生します

JR東日本グループでは、子育て支援を通じた沿線活性化事業『HAPPY CHILD PROJECT』を推進しております。

このたび、中央ラインモールプロジェクトの一環として、2016年12月1日に中央線国立駅～立川駅間の高架下において、開園済みの認可保育園に隣接して高齢者福祉施設を開設することで「COTONIOR (コトニア) 国立」として展開いたします。各施設の交流とともに地域の多世代交流の活性化について取り組みを進めてまいります。

- 1 名称 「COTONIOR (コトニア) 国立」
- 2 所在地 東京都国立市北三丁目42-1
- 3 最寄駅 JR国立駅より徒歩約15分
- 4 開発会社 株式会社JR中央ラインモール
- 5 概要

(1) 児童福祉施設「きたひだまり保育園」

- 形態 認可保育園
- 定員 60名(0～2歳児)
- 実施主体 国立市
- 運営者 社会福祉法人国立保育会
- 開設日 2016年4月1日(開園済)
- 建物規模 建築面積約600㎡(地上1階建て)

(2) 高齢者福祉施設「ジェクサー・プラチナジム コトニア国立店」

- 形態 運動型通所介護施設
- 運営者 株式会社ジェイアール東日本スポーツ
- 開設日 2016年12月1日(予定)
- 建物規模 建築面積約150㎡(地上1階建て)

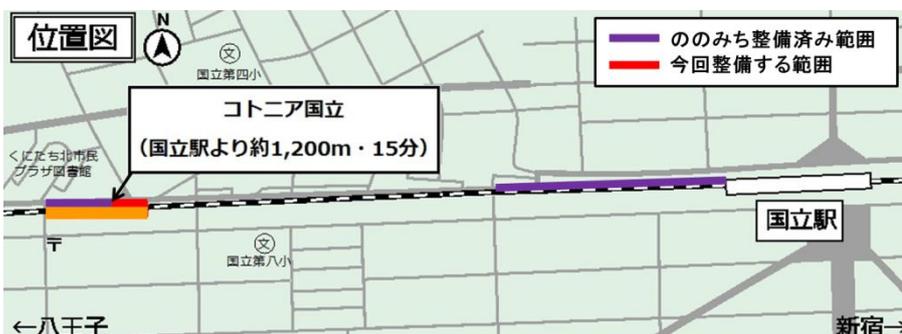
- 6 その他 街の回遊性向上を目的とし、地域にお住まいの皆さまや来街される方が快適に歩ける歩行空間「ののみち」を整備します。



きたひだまり保育園



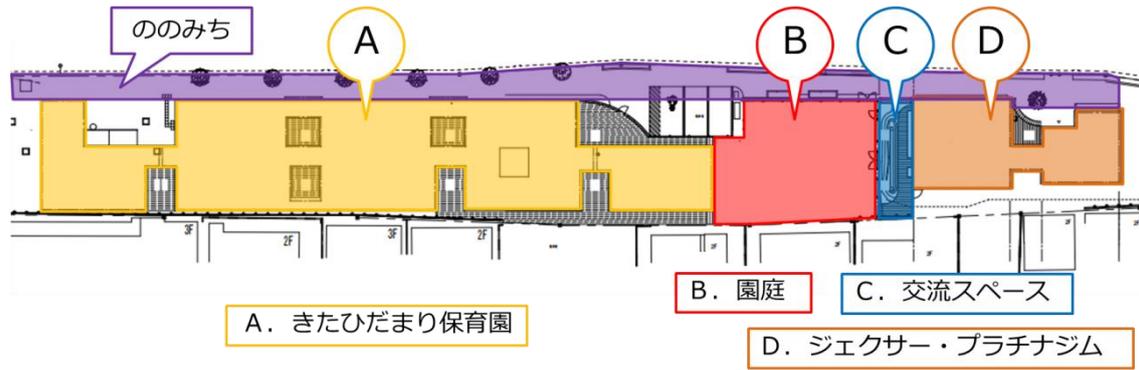
ジェクサー・プラチナジム



ののみち

※写真は国立駅前の「ののみち」を撮影したものです。

■コトニア国立全体配置図



■「COTONIOR (コトニア)」とは

JR東日本グループでは子育て支援施設と高齢者福祉施設を近接して整備することで、子どもたちとシニア世代の方が交流し、多世代が集うあたたかな場「COTONIOR (コトニア)」の開設を進めています。

「子ども (codomo) + と (to) + シニア (senior)」からなる造語で、コトニアの展開を通じて、子どもたちはシニア世代への思いやりや尊敬する心を育み、シニア世代は子どもたちに癒され、気力の充実に繋がっていただきたいと思います。

JR東日本グループでは現在3箇所(吉祥寺・赤羽・西船橋、2016年11月現在)のコトニアを開設しており、「コトニア国立」はJR東日本八王子支社エリアにおいて「コトニア吉祥寺」に続く、2箇所目のコトニアとなります。

【コトニア吉祥寺のご紹介】

コトニア吉祥寺は2013年3月1日に、株式会社ジェイアール東日本都市開発が中央線西荻窪駅～吉祥寺駅間の高架下に整備しました。下図のように3施設をテラスでつなぐことにより交流を促し、利用者が交流できるイベント等(例：夏祭りやクリスマス会)を開催しています。



<コトニア吉祥寺 利用者(シニア世代)からの声>

- ・名前を覚えて呼んでくれるので、子ども達の名前を一生懸命覚えていました

<コトニア吉祥寺 保育園保護者からの声>

- ・近所のシニア世代にも自分から挨拶するようになりました

<参考>

中央ラインモールプロジェクトがめざす「まちづくり」とは

対象エリア



沿線価値を総合的に向上させ、

「中央線沿線に住みたい」と思っただけのブランドへ

街がつながる連続立体交差事業(事業主体:東京都)を契機に、緑と文化の溢れる中央線沿線に生まれた高架下空間において、人と人、人と街、街と街、過去から未来へ「つながる社会」を創り、心豊かな暮らしの実現を目指します。